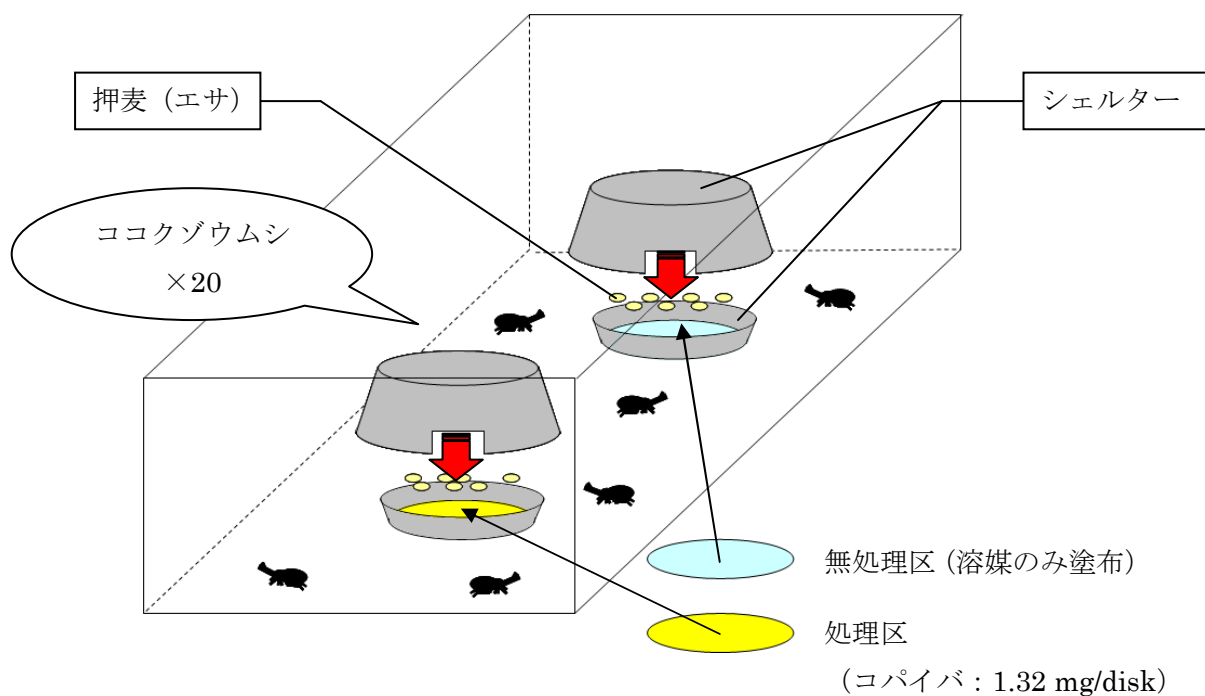


●コクゾウムシに対する忌避活性

プラスチック製のカップにコクゾウムシ (*Sitophilus oryzae*) を入れ 24 時間絶食させた。忌避試験に用いるろ紙の底敷きの部分には、アルミカップ (直径 3.8 cm 高さ 1 cm) の底から 2~3 mm のところで切り抜いたものを用い、同アルミカップをトンネル状になるようにカップの側面を 2 ヶ所切り抜いたものを上から被せるものとして使用した。

コパイバオイルを 1% にヘキサンで希釈し、ヘキサン処理を施した直径 3.6 cm のろ紙に 0.2 ml 塗布した (処理量 : 1.32 mg/disk)。処理したろ紙を底敷きの部分に載せて押麦 0.6 g を置き、上からトンネル状のカップを被せてこれをシェルターとして用意し、処理区とした。同様に、溶媒のみを 0.2 ml 塗布したものを用意し、無処理区として比較対照した。

穴を開け、金属メッシュで蓋をした長方形のプラスチック容器に先ほどのトラップを設置し、絶食させたコクゾウムシ 20 匹を放し、暗条件下で 24 時間後の数を測定して忌避率を算出した。



コクゾウムシに対する忌避試験方法

ココクゾウムシに対する忌避試験結果

	忌避率
コパイバオイル	90.3%

試験の結果、コパイバオイルにはココクゾウムシに対する忌避活性が認められた。

市原慶代ほか, 環動昆 22 (3) , 121-127 (2011)